



平成29年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 日本色材工業研究所
コード番号 4920 URL <http://www.shikizai.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土谷 康彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役人事総務部長 (氏名) 瀧川 順

TEL 03-3456-0561

四半期報告書提出予定日 平成28年10月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年2月期第2四半期の連結業績(平成28年3月1日～平成28年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第2四半期	5,374	40.2	569	915.8	506	—	395	—
28年2月期第2四半期	3,834	4.6	56	—	23	—	△24	—

(注) 包括利益 29年2月期第2四半期 312百万円 (—%) 28年2月期第2四半期 △57百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第2四半期	80.23	—
28年2月期第2四半期	△5.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年2月期第2四半期	9,581	2,437	25.4	465.17
28年2月期	8,995	1,824	20.3	423.27

(参考) 自己資本 29年2月期第2四半期 2,437百万円 28年2月期 1,824百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年2月期	—	0.00	—	—	—
29年2月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年2月期の連結業績予想(平成28年3月1日～平成29年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,688	11.2	703	40.6	611	46.7	450	85.2	88.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年2月期2Q	5,248,444 株	28年2月期	4,318,444 株
② 期末自己株式数	29年2月期2Q	8,307 株	28年2月期	7,332 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年2月期2Q	4,930,949 株	28年2月期2Q	4,311,890 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき記載しております。実際の業績は、今後様々な要因により予想とは異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費は増加したものの、輸出や設備投資には弱さが見られる等、回復の動きに足踏みが見られ、海外経済の減速や円高等の影響から不透明感の強い状況が続いております。

一方、海外の経済情勢は、米国においては、低成長が続くものの堅調な個人消費を背景に緩やかな景気回復が継続し、ユーロ圏経済についても、同様に全体的には緩やかな景気回復基調が持続しました。アジア・新興国については、経済成長の減速が続きました。

このような経済情勢のもと、当社グループは、引き続き企画提案型営業を推進するとともに、生産効率の改善にも注力してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高5,374百万円（前年同期比40.2%増）、営業利益569百万円（前年同期比915.8%増）、経常利益506百万円（前年同期は経常利益23百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は395百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失24百万円）となりました。

セグメント別の業績の概況は、次のとおりです。

(日本)

国内の化粧品受託製造市場は、化粧品メーカーによるアウトソーシングの拡大、異業種企業による化粧品市場参入などを背景に、堅調に推移しております。

このような事業環境のもと、当社の化粧品事業は、インバウンド需要やアジア・アセアン市場における需要等を背景とし、受注が大幅に増加しました。製品種別では、主にアイシャドウ・チーク類、ファンデーション類、口紅類、白粉・打粉類、クリーム類等が、前期を大幅に上回ったことにより前年同期と比較して増収・増益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,481百万円（前年同期比42.6%増）、営業利益は471百万円（前年同期比529.0%増）となりました。

(仏国)

子会社THEPENIER PHARMA INDUSTRIE S.A.S.（以下、テプニエ社という）の所在する欧州経済は、全体的には、個人消費の減速により、成長率は低下しているものの、景気回復基調は持続しております。

このような事業環境のもと、テプニエ社では、前年同期と比較して化粧水の売上および主力の医薬品が伸びたことにより、増収・増益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は960百万円（前年同期比28.8%増）、営業利益は91百万円（前年同期は営業損失25百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、585百万円増加し、9,581百万円となりました。総資産の増加は、流動資産が590百万円増加し、固定資産が4百万円減少したことによるものであります。流動資産の主な増加要因は、現金及び預金が220百万円、受取手形及び売掛金が191百万円、たな卸資産が151百万円、その他が27百万円増加したことによるものであります。固定資産の主な減少要因は、有形固定資産のその他が122百万円、投資有価証券が32百万円増加し、建物及び構築物が140百万円、投資その他の資産のその他が15百万円減少したことによるものであります。

一方、負債合計は、前連結会計年度末に比べ、27百万円減少し、7,143百万円となりました。負債合計の減少は、流動負債が127百万円増加し、固定負債が154百万円減少したことによるものであります。流動負債の主な増加要因は、支払手形及び買掛金が162百万円、賞与引当金が54百万円、その他が33百万円増加し、短期借入金が125百万円減少したことによるものであります。固定負債の主な減少要因は、長期借入金129百万円、その他が27百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、612百万円増加し、2,437百万円となりました。主な増加要因は、株主資本が、第三者割当増資322百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益395百万円等により増加し、その他の包括利益累計額が83百万円減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より221百万円増加して958百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は、378百万円（前年同期は196百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益507百万円、減価償却費178百万円、仕入債務の増加額189百万円等による増加と、売上債権の増加額259百万円、たな卸資産の増加額186百万円、未払消費税等の減少額19百万円等による減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は、170百万円（前年同期は52百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出166百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果増加した資金は、34百万円（前年同期は104百万円の減少）となりました。これは主に、短期借入金の純減少額86百万円、長期借入れによる収入324百万円と長期借入金の返済による支出431百万円、株式の発行による収入303百万円、リース債務の返済による支出42百万円、配当金の支払額21百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年2月期の通期の連結業績予想につきましては、平成28年7月12日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)及び事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	878,205	1,098,810
受取手形及び売掛金	1,767,380	1,958,819
たな卸資産	1,348,918	1,500,317
その他	231,195	258,275
貸倒引当金	△1,821	△1,901
流動資産合計	4,223,879	4,814,322
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,050,225	1,909,765
機械装置及び運搬具(純額)	500,834	495,233
土地	1,301,892	1,300,247
その他(純額)	135,808	258,613
有形固定資産合計	3,988,761	3,963,859
無形固定資産	245,955	236,605
投資その他の資産		
投資有価証券	318,830	351,778
その他	282,366	266,466
貸倒引当金	△64,177	△51,917
投資その他の資産合計	537,020	566,327
固定資産合計	4,771,736	4,766,791
資産合計	8,995,615	9,581,113
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,313,212	1,475,731
短期借入金	1,681,579	1,555,662
未払法人税等	160,791	163,474
賞与引当金	53,632	108,454
その他	907,879	941,233
流動負債合計	4,117,095	4,244,556
固定負債		
長期借入金	2,506,013	2,376,271
役員退職慰労引当金	150,090	150,090
退職給付に係る負債	95,037	97,362
その他	302,608	275,253
固定負債合計	3,053,749	2,898,977
負債合計	7,170,844	7,143,534
純資産の部		
株主資本		
資本金	552,749	714,104
資本剰余金	781,854	943,209
利益剰余金	382,428	756,471
自己株式	△2,682	△3,288
株主資本合計	1,714,349	2,410,497
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	120,660	145,170
繰延ヘッジ損益	△82	△6
為替換算調整勘定	△10,156	△118,081
その他の包括利益累計額合計	110,421	27,082
純資産合計	1,824,771	2,437,579
負債純資産合計	8,995,615	9,581,113

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)
売上高	3,834,379	5,374,972
売上原価	3,256,150	4,224,483
売上総利益	578,229	1,150,489
販売費及び一般管理費	522,155	580,899
営業利益	56,074	569,589
営業外収益		
受取利息	539	309
受取配当金	4,622	4,901
その他	5,886	5,546
営業外収益合計	11,048	10,758
営業外費用		
支払利息	43,122	35,175
株式交付費	—	19,278
為替差損	217	19,019
その他	146	207
営業外費用合計	43,485	73,681
経常利益	23,636	506,665
特別利益		
固定資産売却益	97	804
特別利益合計	97	804
特別損失		
固定資産除却損	1,888	397
工場閉鎖損失	3,066	—
和解金	15,198	—
特別損失合計	20,153	397
税金等調整前四半期純利益	3,579	507,073
法人税、住民税及び事業税	30,087	151,334
法人税等還付税額	△13,455	△10,037
法人税等調整額	10,988	△29,823
法人税等合計	27,620	111,474
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△24,040	395,599
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△24,040	395,599

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△24,040	395,599
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,204	24,509
繰延ヘッジ損益	509	75
為替換算調整勘定	△56,389	△107,924
その他の包括利益合計	△33,675	△83,339
四半期包括利益	△57,716	312,259
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△57,716	312,259
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,579	507,073
減価償却費	193,907	178,767
賞与引当金の増減額(△は減少)	55,434	54,822
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△3,601	16,087
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3	△4,089
受取利息及び受取配当金	△5,161	△5,211
支払利息	43,122	35,175
株式交付費	—	19,278
固定資産売却損益(△は益)	△97	△804
固定資産除却損	1,888	397
工場閉鎖損失	3,066	—
和解金	15,198	—
売上債権の増減額(△は増加)	175,623	△259,235
たな卸資産の増減額(△は増加)	△267,772	△186,163
仕入債務の増減額(△は減少)	154,079	189,346
未払金の増減額(△は減少)	△71,538	12,472
未払消費税等の増減額(△は減少)	△87,318	△19,112
その他	18,113	25,893
小計	228,528	564,696
利息及び配当金の受取額	4,645	4,933
利息の支払額	△42,707	△35,361
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	6,045	△155,919
営業活動によるキャッシュ・フロー	196,512	378,349
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△90,000	△90,000
定期預金の払戻による収入	90,000	90,000
有形固定資産の取得による支出	△47,223	△166,883
有形固定資産の売却による収入	325	804
無形固定資産の取得による支出	△3,971	△3,264
投資有価証券の取得による支出	△1,213	△1,239
投資活動によるキャッシュ・フロー	△52,082	△170,582
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△103,215	△86,688
長期借入れによる収入	400,000	324,768
長期借入金の返済による支出	△403,408	△431,408
株式の発行による収入	—	303,431
自己株式の取得による支出	△499	△605
リース債務の返済による支出	△44,863	△42,642
セール・アンド・リースバックによる収入	55,456	—
配当金の支払額	△39	△21,286
その他	△8,248	△10,636
財務活動によるキャッシュ・フロー	△104,819	34,930
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,774	△21,574
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	29,836	221,123
現金及び現金同等物の期首残高	613,251	737,322
現金及び現金同等物の四半期末残高	643,088	958,446

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年5月10日付で、株式会社ちふれ化粧品、三菱鉛筆株式会社及び株式会社井田ラボラトリーズから第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が161,355千円、資本準備金が161,355千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が714,104千円、資本準備金が943,209千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	仏国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,089,931	744,448	3,834,379	—	3,834,379
セグメント間の内部売上高又は振替高	51,890	1,368	53,258	△53,258	—
計	3,141,821	745,816	3,887,638	△53,258	3,834,379
セグメント利益又は損失(△)	74,886	△25,286	49,599	6,474	56,074

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額6,474千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年3月1日至平成28年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	仏国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,415,181	959,791	5,374,972	—	5,374,972
セグメント間の内部売上高又は振替高	65,940	913	66,854	△66,854	—
計	4,481,121	960,705	5,441,827	△66,854	5,374,972
セグメント利益	471,048	91,369	562,418	7,171	569,589

(注) 1. セグメント利益の調整額7,171千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。